

宣長についての証言

宣長といえば、本に関心のある人ならば一度は耳にする名前。

コツコツ学問を続け、和歌を詠み、注釈書を執筆し、木版印刷全盛の時代に著書が続々と刊行した宣長は、40代後半には古典研究者としての地位を確立していました。

しかし、有名人というものには、周囲の目がつきまとうもの。宣長もそうです。

学問上終始対立し、宣長を「古事記伝兵衛」と揶揄した人がいる。

宣長の没後10年に誕生した人は、「先生にお仕えしたかった」と山室山に登った。

生きた時代から没後に及ぶまで、宣長は多くの人に影響を与えてきました。では、影響を受けた人々は、宣長をどのように認識していたのでしょうか。

本居宣長を、外側から眺めてみましょう。発言や、考え方からウワサまで。宣長を取り巻いた人々・業界の《宣長観》を10人の講師にお話し頂きます。

<共催>本居宣長記念館／鈴屋学会 <後援>松阪市教育委員会

● 場 所：本居宣長記念館（三重県松阪市殿町 1536-7）2階講座室

● 時 間：午後2時～3時

● 開 催 日：4、8月を除く各月第三土曜日

（令和7年）5月17日、6月21日、7月19日、9月20日、10月18日、
11月15日、12月20日

（令和8年）1月17日、2月21日、3月21日

● 備 考：講演の様子を録画し、後日 YouTube（限定公開）にて配信を行います。

※年間登録者限定で、年度内視聴可能

● 年間登録料：1000円

受講方法

1. 申込書を提出し、年間登録料をお支払いください。【年間登録】

年間登録者は、各講座の録画配信もご視聴いただけます。

年度内であれば何度でも見られるので、復習したい方にもオススメです



2. 各回、席の予約をしてください。開催月の1日から予約できます。

席に限りがありますので、年間登録者も必ず事前予約が必要です。



注）各回の受付は、開催月の1日（1日が休館日の場合は2日）から開始します。

お電話・メール・FAXにて。定員は40名となっておりますので、ご予約をお忘れなく！

※現地聴講せず Youtube での視聴のみの方は、ご予約は必要ありません。

令和7年度宣長十講 宣長についての証言 講座一覧

第1講 5月17日(土)

大平が見た背中

本居宣長記念館 井田 もも

第2講 6月21日(土)

上田秋成のみた宣長一呵刈葭論争を中心にー

東洋大学 高松 亮太

第3講 7月19日(土)

こしをれ歌を書く鈴屋主人

本居宣長記念館名誉館長 吉田 悦之

第4講 9月20日(土)

本居宣長と小津安二郎をつなぐ松阪

松阪市産業文化部文化課 岩岡 太郎

第5講 10月18日(土)

宣長を慕う橘曙覧一書物を通して教えを受ける楽しみー

福井市橘曙覧記念文学館 内田 好美

第6講 11月15日(土)

没後の門弟平田篤胤一宣長学説の踏襲と離反ー

皇學館大学 田中 康二

第7講 12月20日(土)

鈴屋を支えた松坂商人たち

NPO 法人松阪歴史文化舎 扇野 耕多

第8講 令和8年1月17日(土)

真淵の語る宣長一異才の弟子を認めるまでー

日本大学 高野 奈未

第9講 2月21日(土)

京都の人々から見た宣長像

京都産業大学 盛田 帝子

第10講 3月21日(土)

内遠時代の本居学一君臣の大道のための国学?ー

佐賀大学地域学歴史文化研究センター 三ツ松 誠



公益財団法人鈴屋遺蹟保存会

本居宣長記念館

Museum of Motoori Norinaga

〒515-0073 三重県松阪市殿町 1536-7

TEL : 0598-21-0312 FAX : 0598-21-0371

Email : info@norinagakinenkan.com

HPはこちら

